

館山市立博物館年報

令和 5 年度版



館山市立博物館
Tateyama City Museum

はじめに

平素よりご来館ご観覧頂きまして、ありがとうございます。

令和5年度当館は開館40周年を迎え、様々な企画展をはじめ、教育普及活動に積極的に取り組みました。

企画展「関東大震災と館山」は、令和5年が関東大震災から100年となる節目の年であり、過去を学び未来へ備えるため、防災に関する講演会や講座も併せて実施し、館山市やその周辺地域の大地誕生の歴史と関東大震災との関係、地震津波から身を守るための重要性について考える良い機会となりました。

開館40周年記念では、収蔵資料展「たてはく大図鑑」と題し、当館の開館経緯やこれまでの活動、社会的役割について紹介し、理解を深める機会となりました。このほか、新しく重要文化財に指定された小網寺所蔵の「金銅密教法具」を特別公開いたしました。展示事業に加え教育・普及活動では、その時代・背景を読み解く歴史教室「古文書を読んでみよう」を開催しました。

当博物館も地域資料の継続的な収集により、現在収蔵資料点数が10万8,000点を超えております。これらの資料の整理分類をしっかりと行い、調査研究及びその成果の活用、情報発信に努めてまいります。

令和5年度版年報に掲載したあらゆる事業の成果は、各職員が担当事務に堅実に取り組んだ結果であると同時に、市民を初めとする多くの皆様方の支えがあったからこそと心より感謝いたしております。

これからも「郷土博物館としての役割」を果たせるよう、来館者の皆様の安全・安心の確保に努めながら、資料収集・調査研究・各種普及事業の実施に取り組んでまいります。

この年報をご覧いただき、これまでと同様、当館への皆様方からのご支援を頂戴できれば幸甚に存じます。

令和6年7月31日

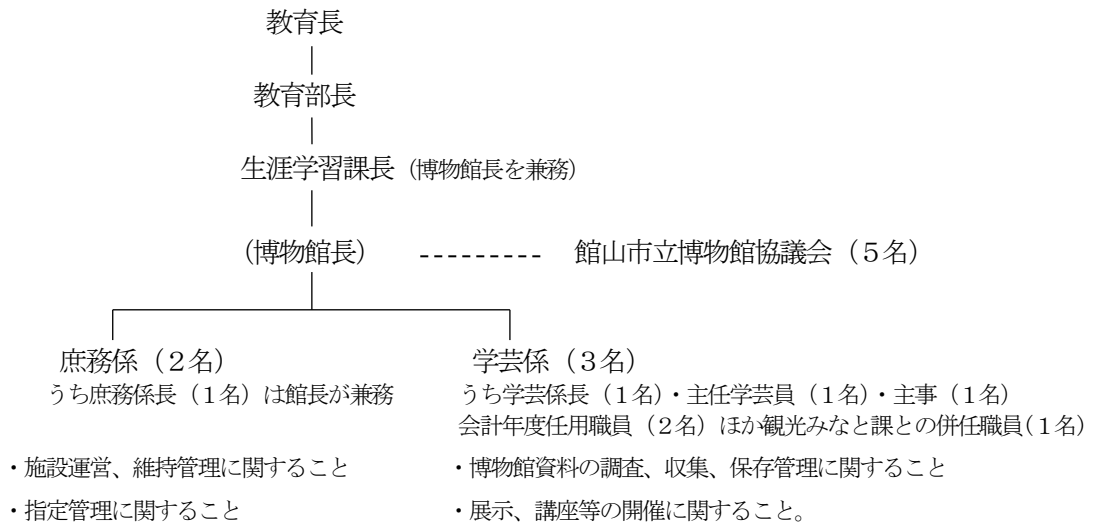
館山市立博物館長 内堀 哲也

目 次

I 組織と運営	1
（1 組織図 / 2 施設 / 3 館山市立博物館協議会）	
II 利用状況	2
（1 本館・館山城入館者数 / 2 市内（立）学校等の利用 / 3 資料の利用 / 4 入館者アンケート）	
III 展示活動	8
（1 常設展 / 2 企画展 / 3 その他）	
IV 教育・普及活動	11
（1 印刷物の発行 / 2 講座・教室 / 3 動画の公開 / 4 博物館実習）	
V 調査・研究活動	15
（1 学芸員の活動）	
VI 資料の収集・保存	17
（1 新規収蔵資料 / 2 くん蒸）	
VII 施設運営・維持管理	19
（1 指定管理者との協働 / 2 館内における新型コロナウイルス感染症防止対策 / 3 主な施設改修 / 4 令和5年度館山市事業仕分けの結果）	
VIII 例規	21

I 組織と運営

1 組織図



2 施設

名 称		所在地	沿 革
館山市立博物館	本館	館山市館山 351 番地の 2	昭和 58 年 (1983) 開館
	館山城 (八犬伝博物館)	館山市館山 351 番地の 2	昭和 57 年 (1982) 開館
館山市立博物館分館	“渚の駅” たてやま内 渚の博物館	館山市館山 1564 番地の 1	千葉県から旧安房博物館を移譲 平成 23 年 (2011) 開館

3 館山市立博物館協議会

(1) 委員 (任期：令和 4 年 7 月 1 日～令和 6 年 6 月 30 日)

区 分	氏 名	役職名等
学識経験者	梶山 林 繼	國學院大學名誉教授
学識経験者	清本 正人	お茶の水女子大学教授
学校教育関係者	神作 正孝	館山市立館山小学校長
社会教育関係者	石井 則子	元館山市社会教育委員
家庭教育の向上に資する活動を行う者	須田 啓子	元館山市家庭教育指導員

(2) 会議

開催日 令和 6 年 2 月 1 日 (木)

- 議題
- ・令和 5 年度館山市立博物館事業報告について
 - ・令和 6 年度館山市立博物館事業計画について
 - ・館山城 (八犬伝博物館) 運営状況 (指定管理業務) について
 - ・令和 5 年度館山市事業仕分けの結果について

Ⅱ 利用状況

1 本館・館山城入館者数

◆令和5年度月別

(人)

月	合計	市内			市外			開館日数
		大人	小人	合計	大人	小人	合計	
4月	5,246	257	79	336	4,080	830	4,910	26
5月	6,060	281	174	455	4,573	1,032	5,605	27
6月	2,117	253	53	306	1,622	189	1,811	19
7月	2,873	174	45	219	2,252	402	2,654	26
8月	5,691	511	123	634	3,798	1,259	5,057	27
9月	4,221	503	86	589	3,216	416	3,632	26
10月	4,285	420	135	555	3,293	437	3,730	26
11月	4,363	235	49	284	3,320	759	4,079	26
12月	2,999	232	106	338	2,300	361	2,661	24
1月	4,275	258	62	320	3,320	635	3,955	27
2月	4,836	205	98	303	3,935	598	4,533	24
3月	6,037	197	91	288	4,708	1,041	5,749	27
合計	53,003	3,526	1,101	4,627	40,417	7,959	48,376	305

※別途、本館・館山城共通券の半券入館者あり

※謎解きゲームは、令和6年9月まで実施

◆年度別推移

(人)

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
65,809	59,286	50,338	37,704	48,036	50,371	61,090	53,003

参考：分館（渚の博物館）入館者数・年度別推移

(人)

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
171,300	167,229	204,399	184,010	119,288	189,844	244,425	205,431

2 市内（立）学校等の利用

(1) 本館見学（学芸員の説明対応）

- R5. 9. 22 館山市立九重小学校 10 名（企画展「関東大震災と館山」）
 11. 14 館山市立豊房小学校 12 名（本館・館山城展示見学）
 12. 20 館山市立西岬小学校 36 名（昔のくらし学習）
 R6. 1. 24 館山市立豊房小学校 6 名（昔のくらし学習）
 2. 13 館山市立船形小学校 21 名（昔のくらし学習）
 2. 28 館山市立西岬小学校 6 名（昔のくらし学習）

3 資料の利用

(1) 放映・掲載など

申請日	資料名	掲載・放映媒体
R5. 4. 3	妙本寺日我書状（個人蔵）	『里見氏研究』第3号
4. 17	曲亭馬琴肖像画（『戯作六家撰』写本）	館山城企画展「南総里見八犬伝総選挙」パネル
4. 19	版画「里見八犬伝石浜対牛楼」三代歌川豊国画	『見る！読む！なっとク 国語便覧』（株式会社文理）
4. 29	版画「里見左馬頭義弘相州城ヶ島にて北条と戦ふ」他	NHK BS プレミアム「英雄たちの選択」
5. 1	『安房震災写真帖』他	「首都直下地震を見据えた災害対応をテーマとするリレーシンポジウム」（千葉県他）パネル展示
5. 1	『安房震災写真帖』他	東京湾学セミナー講演資料
5. 9	版画「大日本六十余州の内安房 里見の姫君伏姫」	箱菓子デザインおよび広報資料（株式会社さわらび）
5. 18	『安房震災写真帖』他	千葉県庁・西部防災センター パネル展示
5. 26	版画「義勇八犬伝」歌川国芳画 他	『NHK ドラマガイド「連続テレビ小説らんまん」』part2（株式会社NHK 出版）
5. 31	柴原和肖像写真（吉田家文書）	千葉県誕生150年記念「写真で見るちばのあゆみ」パネル巡回展（千葉県立中央博物館）
6. 9	絵はがき「館山海岸の漁船」（個人蔵）	読売テレビ「ディスカバリーエンターテインメント 秘密のケンミンSHOW 極」
6. 9	版画「里見左馬頭義弘相州城ヶ島にて北条と戦ふ」他	NHK 総合「ファミリーヒストリー」
6. 12	版本『南総里見八犬伝』第9輯結局下編	ビデオ「熊本、木葉猿の歴史」（福岡映像協会）
6. 12	『安房震災写真帖』	NHK 総合「首都圏ネットワークみんなのおかえり天気」
6. 18	元文小判	関西テレビ「かまいたちの机上の空論城」
6. 28	版画「北条九代記鴻之台合戦」	『マネジメントスクエア』8月号（株式会社ちばぎん総合研究所）
7. 11	『安房震災誌』他	関東大震災企画記事（毎日新聞社千葉支局）

7. 14	版画「里見左馬頭義弘相州城ヶ島にて北条と戦ふ」 他	NHK 総合「ファミリーヒストリー」
7. 18	渚の博物館展示風景	千葉テレビ「市町村てくてく散歩」
7. 21	館山市内全域航空写真集 他	テレビ東京「所さんの学校では教えてくれないそこんトコロ！」
7. 24	『安房震災写真帖』	『消防研修』第 113 号（消防庁消防大学校）
7. 25	東八ヶ国絵図	大原幽学記念館特別展「椿海干拓 350 周年記念 干潟八万石物語」パネル展示
7. 25	館山城常設展示風景 他	NHK 千葉放送局公式 HP・公式 Twitter 等
7. 31	坂井翁作古墳出土 環頭大刀 他	埼玉県埋蔵文化財調査事業団研究紀要
8. 2	正木憲時蔵（複製、原品は道種院所蔵）	黒田基樹編『戦国武将列伝 関東編 下』（戎光祥出版株式会社）
8. 11	版本『南総里見八犬伝』 他	NHK E テレ「偉人の年収 How much?」（曲亭馬琴編）
8. 14	川名写真館旧蔵ガラス乾板館山祭礼写真	館山市中央公民館ふるさと講座 配付資料・スライド
8. 18	『安房震災写真帖』 他	「防災特集」記事（房日新聞社）
8. 24	版画「里見八犬伝 行徳の入江」 他	リアル謎解きゲーム×里見八犬伝「館山城を救え！第三章」（株式会社塚原緑地研究所）キット
8. 26	川名写真館旧蔵ガラス乾板「露天授業」 他	関東大震災関連記事（千葉日報社）
8. 28	版画「北条九代記鴻之台合戦」	出版書籍紹介動画（松沢成文事務所）
9. 2	『安房震災写真帖』 他	NHK 総合「首都圏ネットワーク」および WEB 記事
9. 5	馬琴著作双六 他	館山城企画展「馬琴展」ポスター・パネル
9. 6	版画「美勇水滸伝 里見義成・八房」 月岡芳年画 他	川森博司『ソレが「ひと」ではなかった 異類婚姻譚案内』（株式会社淡交社）
9. 8	版画「芳流閣両勇動」	『大塚薬報』2023 年 11 月号（大塚ホールディングス株式会社）
9. 21	関東震災全地域鳥瞰図絵	千葉県建築士会野田流山支部パネル展示
9. 28	里見義頼朱印状	『マネジメントスクエア』11 月号（株式会社ちばぎん総合研究所）
10. 8	版画「八犬伝犬の草紙之内 足利成氏」	千葉市立郷土資料館特別展「関東の 30 年戦争「享徳の乱と千葉氏一宗家の交代・本拠の変遷、そして戦国の世の胎動」」図録
10. 10	万祝（高砂） 他	NHK 総合「あさイチ」
10. 31	版画「里見八犬伝 芳流閣の場」 他	京都造形芸術大学通信教育部「芸術史基礎」動画教材
11. 6	『安房震災写真帖』 他	県立安房特別支援学校授業
11. 15	元文小判	テレビ東京「所さんの学校では教えてくれないそこんトコロ！」
11. 17	版画「里見左馬頭義弘相州城ヶ島にて北条と戦ふ」	里見氏研究会特別講演会告知記事

11. 21	川名写真館旧蔵ガラス乾板「城山から撮影した大正時代の館山市街」	テレビ朝日「スーパーJチャンネル」
12. 11	関東震災全地域鳥瞰図絵 他	公津の杜コミュニティセンター パネル展示
12. 13	上杉輝虎書状（個人蔵）	南房総市広報紙『広報みなみぼうそう』
R6. 1. 9	打瀬船 他	『国の記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財「霞ヶ浦の帆引網漁の技術」総合調査報告書』
1. 10	安房国山下郡北条村本郷之図（楠田家文書）	館山市文化財保護協会会報『館山と文化財』第 57 号
1. 15	川名写真館旧蔵ガラス乾板写真「船形祭礼のお浜出」 他	関東の山車祭り展実行委員会「関東の山車祭り展」
1. 16	関東震災全地域鳥瞰図絵	日本消防協会会館常設展示動画
1. 16	水岡やぐら写真	淑徳学園広報誌 Web 版
1. 18	版画「里見左馬頭義弘相州城ヶ島にて北条と戦ふ」	『安全衛生のひろば』（中央労働災害防止協会）
1. 19	醍醐新兵衛定緝肖像画 他	ふるさとゆかりの偉人マンガ『醍醐新兵衛〜ツチンボの来る夏〜』（鋸南町教育委員会）
1. 22	曲亭馬琴肖像画（『戯作六家撰』写本） 他	『見る知る学ぶ 史跡・名勝でぐぐっとわかる 日本文学（仮）』（JTB パブリッシング）
1. 22	立板古「大しん板切組とうろう里見八犬伝 悪猫たいじの段」	館山城企画展「八犬伝と双六展」 パネル
1. 31	立板古「大しん板切組とうろう里見八犬伝 悪猫たいじの段」	千葉市科学館企画展「ミニチュアリウム」ワークショップで使用
1. 31	中村国香『房総志料』 他	NHK 総合「にっぽん百低山 富山」
2. 2	番付「剣法名誉侠客倚人鑑」	TOKYO MX「ぐると東京江戸散歩」
2. 15	器械潜水用具 他	NHK E テレ「先人たちの底力 知恵泉」
2. 28	版画「大日本六十余州の内安房 里見の姫君伏姫」 他	打吹童子ばやし第 32 期演奏会（打吹童子ばやし振興会）
3. 2	版画「芳流閣両勇動」 他	館山城・城山公園チラシ（塚原緑地研究所）
3. 11	稲原貝塚出土黒曜石（複製）	講演会スライド
3. 11	里見義康肖像（『英名百雄伝』）	テレビ朝日「マツコ&有吉かりそめ天国」
3. 18	版画「里見八犬伝 夷隅館山城」	館山城企画展「南総里見八犬伝浮世絵展」ポスター・チラシ
3. 19	吉原玄蕃助所用 縹糸威五枚胴具足（個人蔵）	黒田基樹『図説 北条氏康』（戎光祥出版）
3. 22	版本『南総里見八犬伝』	テレビ朝日「帰れマンデー見っけ隊!!」

(2)調査

調査日	資料名	調査機関（目的）
R5. 7. 25	新井文山木像 他	新井文山に関する資料調査（大原幽学記念館）
12. 1	万祝（捕鯨） 他	展示準備のための資料調査（千葉県立中央博物館）
R6. 2. 7	フタツメガネ 他	展示準備のための資料調査（埼玉県立歴史と民俗の博物館）
3. 25	房総里見誌 他	展示準備のための資料調査（君津市立久留里城址資料館）

上記の他、個人等による調査が38件あった。

(3)貸出

貸出期間	資料名	貸与先（利用目的）
R6. 1. 10～ 3. 20	版画「八犬伝犬の草紙之内 足利成氏」他	千葉市立郷土資料館（特別展「関東の30年戦争 「享徳の乱と千葉氏一宗家の交代・本拠の変遷、 そして戦国の世の胎動一」

4 入館者アンケート

方 法 博物館本館入館者を対象に実施。無記名方式。

期 間 令和5年4月1日～令和6年3月31日

回答数 364件

(1)性別

男性	女性	その他	無回答
136	169	1	58
37.4%	46.4%	0.3%	15.9%

(2)年齢

0～9歳	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	無回答
61	86	26	14	33	28	52	50	11	4
16.7%	23.6%	7.1%	3.8%	9.0%	7.7%	14.2%	13.7%	3.0%	1.1%

(3)職業

小学生	中学生	高校生	大学生	その他 学生	会社員	公務員	自営業	農業 漁業	主婦 主夫
94	18	8	7	5	70	20	11	3	26
25.8%	4.9%	2.2%	1.9%	1.4%	19.2%	5.5%	3.0%	0.8%	7.1%
無職	その他	無回答							
47	23	33							
12.9%	6.3%	9.0%							

(4) 住まい

館山市内	市外（安房）	千葉県内	千葉県外	無回答
100	38	107	100	17
27.6%	10.5%	29.6%	27.6%	4.7%

(5) 同行者

1人で	家族・親戚	友人	学校	その他団体	その他	無回答
108	201	39	6	8	4	7
29.0%	53.9%	10.5%	1.6%	2.1%	1.1%	1.9%

(6) 見学回数

初めて	2回目	3回目	4回目以上	無回答
210	46	19	83	7
57.5%	12.6%	5.2%	22.7%	1.9%

(7) 来館目的 ※複数回答可

常設展	企画展	講座 解説会	学習 宿題	調査 研究	館山城	公園	観光	その他	無回答
90	133	7	14	1	120	59	73	13	8

(8) 情報入手方法 ※複数回答可

ポスター チラシ	新聞	ガイド ブック	公園内	観光宿泊 施設	市WEB サイト	市SNS	その他	無回答
65	40	17	110	24	40	22	84	19

(9) 観覧料について

適当	安い	高い	その他	無回答
217	80	29	15	24
59.5%	21.9%	7.9%	4.1%	6.6%

(10) 感想

非常に良い	良い	普通	悪い	非常に悪い	無回答
177	140	29	3	2	14
48.5%	38.4%	7.9%	0.8%	0.5%	3.8%

Ⅲ 展示活動

1 常設展

本館では、歴史展示室と民俗展示室で常設展示を行ったほか、企画展示室では企画展で使用する時期を除き、テーマ展示として「岩崎巴人 水墨画の世界」を開催しました。民俗展示室では、季節展示を行いました。

館山城（八犬伝博物館）では、1階展示室において、『南総里見八犬伝』を紹介する常設展示を行いました。渚の博物館では、常設展示室で「房総の海と生活」をテーマとした常設展示を行いました。

2 企画展

(1) 新収蔵資料展「あたらしい資料のご紹介」

◆期 間 令和5年4月22日（土）～5月28日（日） 開館32日

◆会 場 本館企画展示室

◆概 要 前年度、新たに収蔵された1,600点以上の資料の中から一部を紹介しました。展示構成は「暮らしと産業」「観光と交通」「信仰と行事」「戦争と人々」「学びと文化」「里見氏と八犬伝」「ゆかりの人々」「名誉市民・醍醐敏郎先生」の8コーナーです。里見氏の古文書や市立北条小学校プール完成記念手ぬぐい、市出身の柔道家・醍醐敏郎十段（1926～2020）ゆかりの品まで、さまざまな資料を展示しました。展示資料数109点。

◆関連事業 解説動画（市公式YouTubeチャンネルにて公開）

◆展示担当者 宮坂新（学芸係長）



(2) 企画展「関東大震災と館山」（中央公民館・図書館危機管理課連携事業）

◆期 間 令和5年7月29日（土）～10月9日（月・祝） 開館73日

◆会 場 本館企画展示室

◆概 要 本年は関東大震災から100年となる節目の年であり、地震や防災への関心が高まることから、過去を学び未来へ備えるため関東大震災をテーマに企画展を開催し関連事業を実施しました。企画展では、地震により甚大な被害を受けた安房地域の様子、地震直後の救援活動、復興する町村の動向、震災犠牲者の慰霊や伝承について地域に残る資料を紹介しました。また、中央公民館・危機管理課・図書館と連携して関連事業を開催しました。展示資料数150点。

◆印刷物 ポスター・しおり・図録（カラー60頁）



◆関連事業 ①展示解説会 8/5(土)・9/2(土) 参加人数61人 ②講演会 10/1(日) 参加人数167人 ③防災講座 10/1(日) 参加人数は②と同じ ④歴史探訪 10/1(日) 参加人数31人 ⑤宿題大作戦 8/6(日)・8/26(土) 参加人数11人 ⑥解説動画(市公式YouTubeチャンネルにて公開) ※②～⑤の詳細は「IV教育・普及活動」「2講座・教室」参照

◆連携 中央公民館、図書館、危機管理課

◆助成 千葉県誕生150周年記念事業

◆後援 国土交通省国土地理院

◆展示担当者 山村恭子(主任学芸員)



(3)開館40周年記念収蔵資料展「たてはく大図鑑」

◆期間 令和5年11月18日(土)～令和6年1月28日(日) 開館57日

◆会場 本館企画展示室

◆概要 昭和58年(1983)11月23日に市立博物館本館が開館してから40周年となる節目に合わせ、市立博物館の歴史と活動を「40のキーワード」で振り返りました。「たてはく誕生」「ささえる人々」「大切な資料」「展示ができるまで」「楽しく学ぼう」の5つのコーナーに分け、当館の開館経緯やこれまで行ってきた活動、社会的役割について紹介し、理解を深める機会としました。また、それぞれのキーワードに合わせた資料を展示し、多彩な収蔵資料の魅力を紹介しました。展示資料数134点。



◆印刷物 ポスター・しおり

◆関連事業 ①展示解説会 11/23(木・祝)・1/14(日) 全2回・参加人数26人

②解説動画(市公式YouTubeチャンネルにて公開)

③『館山市立博物館開館40周年記念誌 10年のできごと 2013～2023』の発行(市WEBサイト上にPDFにて公開)

◆展示担当者 宮坂新(学芸係長)、廣田哲徳(主事)

(4)特別公開「小網寺の密教法具」

◆期間 令和5年4月1日(土)～12月25日(月)

◆会場 本館常設展示室

◆概要 新しく重要文化財に指定された小網寺所蔵の「金銅密教法具」のコーナー展示を常設展示室内に設置しました。展示資料数13点。

◆展示担当者 山村恭子(主任学芸員)



(5)特別公開「新しく指定された小網寺の密教法具と安房の仏教文化」(生涯学習課連携事業)

◆期 間 令和6年2月1日(木)～4月7日(日) 開館67日

◆会 場 本館企画展示室

◆概 要 重要文化財の金銅密教法具と県指定の柄香炉の講演会にあわせて、密教法具と小網寺をはじめ安房郡内の寺院から寄託されている資料を展示し、安房の仏教文化について理解を深める機会としました。展示資料数36点。

◆連 携 生涯学習課

◆展示担当者 山村恭子(主任学芸員)

(6)収蔵資料展「安房のおりなす未来の風

房州うちわ 技の伝承展」(雇用商工課連携事業)

◆期 間 令和5年5月30日(火)～

令和6年4月14日(日) 開館312日

◆会 場 分館企画展示室

◆概 要 房州うちわの製作道具や古文書を展示しました。展示資料数17点。

◆連 携 雇用商工課、房州うちわ振興協議会

◆展示担当者 山村恭子(主任学芸員)



3 その他

(1)パネル展「絵図士が知っている館山の見どころ文化財マップ展」

◆期 間 通年

◆会 場 本館休憩室

◆概 要 当館の市民ボランティアであるミュージアムサポーター「絵図士」が、過去に作成した文化財マップを写真で紹介するパネル展示を、令和元年度より実施しています。3か月ごとにテーマを変え、「絵図士」が現地を再調査のうえ、数度にわたる打合せでパネル原稿を作成し、展示作業を行いました。本年度は前年度に調査した「慈恩院」(4/4～7/23)や「國司神社」(7/25～11/12)、「小網寺」(11/14～4/7)の文化財を紹介しました。

◆展示担当者 絵図士(ミュージアムサポーター)

慈恩院(青木悦子、刑部昭一、金久ひろみ、佐藤博秋、佐藤靖子、鈴木正、殿岡崇浩、丸山千尋、山杉博子、岡田晃司)10名

國司神社(鈴木正、殿岡崇浩、山杉博子、岡田晃司)4名

小網寺(金久ひろみ、刑部昭一、佐藤博秋、佐藤靖子、鈴木正、殿岡崇浩、岡田晃司)7名

◆展示補助者 山村恭子(主任学芸員)



IV 教育・普及活動

1 印刷物の発行

(1) 館報「ミュージアム発見伝」第98号

◆刊行時期 令和6年3月25日

◆部 数 1,500部

◆概 要 令和5年度に開催した展覧会の概要紹介、企画展の調査成果、収蔵資料の紹介などの記事を掲載しました。

(2) 『館山市立博物館年報』（令和4年度版）

◆刊行時期 令和5年9月30日（市WEBサイト上にPDFにて公開）

◆概 要 令和4年度の利用状況・事業内容等を報告しました。

(3) 『館山市立博物館開館40周年記念誌 10年のできごと 2013～2023』

◆刊行時期 令和5年11月23日（市WEBサイト上にPDFにて公開）

◆概 要 平成25年（2013）度から令和4年（2023）度までの10年間の事業や利用状況を報告しました。

(4) 文化財マップ

ミュージアムサポーター「絵図士」が安房地域の文化財を調査して、地図と説明を表裏に印刷した文化財マップを作製し、博物館本館ロビーで配布しました。また、文化財マップは館山市立博物館WEBサイト「たてやまフィールドミュージアム」に掲載しました。

①「白滝不動尊」

◆刊行時期 令和5年12月

◆概 要 鴨川市上小原の白滝不動尊の境内に所在する文化財について、博物館ミュージアムサポーター「絵図士」6名（青木悦子、金久ひろみ、佐藤博秋、佐藤靖子、殿岡崇浩、岡田晃司）が調査し、文化財マップを作成しました。

②「高皇産霊神社と善浄寺」

◆刊行時期 令和6年3月

◆概 要 北条地区高井の高皇産霊神社と善浄寺の境内に所在する文化財について、博物館ミュージアムサポーター「絵図士」3名（刑部昭一、山杉博子、岡田晃司）が調査し、文化財マップを作成しました。

2 講座・教室

今年度も新型コロナウイルス感染症対策のため、人数制限や受講者の間隔を広くとるなど対策をとりながら実施しました。

(1) 歴史教室「古文書を読んでみよう」

◆開催日 令和5年6月～令和6年1月 各月第3火曜日（午前・午後）および第3土曜日（午前・午後）実施。

全4クラス各8回

◆場 所 本館集会室

◆講 師 宮坂新（学芸係長）

◆概 要 安房地域で作成された江戸時代の古文書をテキストとして、くずし字の読み方と地域の歴史を学ぶ初心者向けの講座です。感染防止のため各クラスの定員を従来の半数程度とし、4クラスを開講しました。

◆参加人数 火曜午前クラス 31 人・火曜午後クラス 32 人・土曜午前クラス 31 人・土曜午後クラス 25 人

(2) なつやすみ宿題大作戦～関東大震災を調べよう！～（図書館連携事業）

◆開催日時 ①令和5年8月6日（日）、②8月26日（土）

◆場 所 ①本館集会室、企画展示室

◆講 師 山村恭子（主任学芸員）・相川咲妃（主任司書）

◆概 要 平成28年度から実施している地域学習の宿題に困る小学生を図書館司書と博物館学芸員が連携してサポートする講座です。企画展関連事業として、図書館と共同で「関東大震災」をテーマにして開催しました。図書館編では、本を使った調べ方や、館内を探検しながら、調べたいことが載っている本の探し方を学び、博物館編では写真を観察し、資料の調べ方を学びました。

◆連 携 図書館

◆参加人数 11 人（①8人②3人）



(3) 歴史探訪「わたしの町の歴史探訪」第42回宝貝・水岡

◆開催日時 令和5年12月9日（土）13:30～16:00

◆場 所 九重地区 宝貝・水岡

◆講 師 山村恭子（主任学芸員）解説

廣田哲徳（主任主事）マップイラスト

◆概 要 42回目となる今回は、市内宝貝・水岡地区で実施しました。職員が制作したイラストマップを片手に、覚性院、熊野神社、南台の地藏堂などを歩いて巡りました。

◆参加人数 28 人

◆そ の 他 歴史探訪マップは、講座開催後に印刷物を館内で配布し、「たてやまフィールドミュージアム」（館山市立博物館WEBページ）へ掲載しています。



(4) 企画展講演会「くり返す巨大地震が生んだ館山の大地」 ふるさと講座プラス（中央公民館連携事業）

◆開催日時 令和5年10月1日（日）

◆場 所 南総文化ホール小ホール

◆講 師 宋倉正展氏（国立研究開発法人産業技術総合研究所）

◆概 要 企画展関連事業として、中央公民館と共同で



地形の変化について講座を開催しました。産業技術総合研究所の宍倉正展先生に館山市やその周辺地域の大地誕生の歴史と関東大震災との関係についてお話いただきました。

◆コメンテーター 岡田晃司氏（元館山市立博物館館長）

◆連 携 中央公民館

◆参加人数 167 人

（5）防災講座「地震津波から身を守る～自助・共助のススメ～」ふるさと講座プラス（中央公民館連携事業）

◆開催日 令和5年10月1日（日）11：00～11：30

◆場 所 南総文化ホール小ホール（定員 300 名）

◆講 師 清野賢一氏（館山市危機管理課長）

◆概 要 企画展関連事業として、中央公民館と共同で防災について講座を開催しました。危機管理課の協力により、地震津波から身を守るため自助や共助の重要性について説明しました。

◆連 携 中央公民館

◆参加人数 167 人 ※企画展講演会と同時開催



（6）歴史探訪「震災の足跡をめぐる」ふるさと講座プラス（中央公民館連携事業）

◆開催日時 令和5年10月1日（日）13：00～15：00

◆場 所 館山市内

◆内 容 企画展関連事業として、中央公民館と共同で史跡めぐりを開催しました。マップを手に市内に残る震災の記念碑や慰霊碑、地形変化がわかる場所をめぐり、地域の被災の歴史について学びました。生涯学習バスにて2班に分かれて移動し、現地や車内で講師が解説を行いました。

◆講 師 岡田晃司氏（元館山市立博物館館長）、
山村恭子（主任学芸員）

◆連 携 中央公民館

◆参加人数 31 人



（7）講演会「新たに重要文化財となった小網寺の密教法具と柄香炉」（生涯学習課連携事業）

◆開催日時 令和6年2月24日（土）13：30～

◆場 所 館山市立博物館本館集会室

オンライン（ZOOM）同時開催

◆講 師 原田一敏氏（ふくやま美術館館長・東京藝術大



学名誉教授)

◆概 要 令和5年6月27日に重要文化財に指定された小網寺(館山市出野尾)に伝わる「金銅密教法具」20点と県指定の柄香炉について、全国の事例も交えながらその特徴についてお話ししていただきました。

◆連 携 生涯学習課

◆参加人数 57人(会場47人、オンライン10人)

(8)収蔵資料解説会

◆開催日時 令和6年3月9日(土) ①10:30 ②13:30

◆場 所 分館収蔵展示室

◆解説者 山村恭子(主任学芸員)

◆概 要 館山市立博物館分館(渚の博物館)の第一収蔵庫(収蔵展示室)を特別公開し、今ではほとんど見ることができない和船の造船技術で作られた木造漁船や船を作った船大工の使用した道具などを紹介しました。

◆参加人数 ①13人②4人

3 動画の公開

①令和5年度新収蔵資料展「あたらしい資料のご紹介」博物館の新しい資料(メンバー)をご紹介します!

◆掲載時期 令和5年5月

◆概 要 新収蔵資料展の概要と見どころを担当学芸員が解説しています。約5分。

②企画展「関東大震災と館山」100年前の大地震、安房地域はどうなった?

◆掲載時期 令和5年9月

◆概 要 企画展「関東大震災と館山」の概要と見どころを担当学芸員が解説しています。約13分。

③収蔵資料展「たてはく大図鑑」博物館の歴史と活動をご紹介します!

◆掲載時期 令和5年12月

◆概 要 収蔵資料展「たてはく大図鑑」の概要と見どころを担当学芸員が解説しています。約6分。

4 博物館実習

◆期 間 令和5年9月13日(水)～9月21日(木)うち6日間

◆人 数 4人(東京農業大学、武蔵野美術大学、東京海洋大学、筑波大学)

◆概 要 学芸員資格の取得を目指す学生が、資料の取扱い実習、寄付資料の整理作業、本館・分館の展示替え作業、ワークシート作成など博物館の多様な業務を体験しました。今年度は、実習生が分館常設展示室の万祝コーナーの展示替えを担当し、資料の選定、キャプションの作成、展示作業と展示に関する一連の作業を学芸員の指導のもと行いました。



V 調査・研究活動

(1) 宮坂新（学芸係長）

◆担当事業

- 【展 示】館山城常設展管理（指定管理者自主事業の監修を含む）、新収蔵資料展「あたらしい資料のご紹介」、開館 40 周年記念収蔵資料展「たてはく大図鑑」
- 【教育普及】歴史教室「古文書を読んでみよう」、広報連載「お茶の間博物館」分担執筆
- 【資料管理】寄付資料受入
- 【調査研究】令和 6 年度企画展の準備調査

◆講師派遣等

- ・令和 5 年 5 月 20 日 館山市文化財保護協会総会ミニ講演会講師「古文書で知る江戸時代の買物と暮らし」
- ・同 6 月 16 日 千葉経済大学キャリア別コース制講師「学芸員の仕事と魅力」
- ・同 6 月 21 日 市立豊房小学校出前授業（フィールドワーク講師）
- ・同 6 月 29 日 市立豊房小学校出前授業（フィールドワーク講師）
- ・同 7 月 4 日 生涯学習出前講座（市立神余小学校）講師「地区の歴史を知りたい」
- ・同 8 月 6 日 館山市文化財保護協会 安房学講座講師「江戸時代の漁業争論」
- ・同 10 月 30 日 生涯学習出前講座（県立安房特別支援学校豊分校）講師「地区の歴史を知りたい」
- ・同 11 月 5 日 松戸市文化祭文化講演会（松戸史談会）講師「江戸時代房総の干鰯」
- ・同 11 月 16 日 日本博物館協会 全国博物館大会分科会報告「館山市立博物館と千葉大学デザイン文化計画研究室の連携—収蔵資料のデジタル化と活用」
- ・令和 6 年 3 月 13 日 安房 4 市町公民館連携講座「見たり・聞いたり安房の国」（「房総里見氏～歴史の幕開け」歴史探訪・散策講師）

◆原稿執筆

- ・「（問題提起）〆川合、における水害と館林藩の対応」（『地方史研究』424 号、令和 5 年 8 月）
- ・「近世後期館山藩における足輕供出に関する一考察」（『館山と文化財』第 57 号、館山市文化財保護協会、令和 6 年 3 月）

(2) 山村恭子（主任学芸員）

◆担当事業

- 【展 示】分館常設展管理、企画展「関東大震災と館山」、特別公開「小網寺の密教法具」「新しく指定された小網寺の密教法具と安房の仏教文化」、テーマ展示「安房のおりなす未来の風 房州うちわ技の伝承展」（雇用商工課連携事業）
- 【教育普及】ミュージアムサポーター絵図士（パネル展（慈恩院・國司神社・小網寺）及び文化財マップ（白滝不動尊・高皇産霊神社と善浄寺）作成）、わたしの町の歴史探訪「宝貝・水岡」、なつやすみ宿題大作戦（図書館連携事業）、企画展講演会「くり返す巨大地震が生んだ館山の大地」（中央公民館連携事業）、防災講座「地震津波から身を守る～自助・共助のススメ～」（中央公民館連携事業）、歴史探訪「震災の足跡を巡る」（中央公民館連携事業）、重要文化財指定記念講演会「新たに重要文化財となった小網寺の密教法具と柄香炉」（生涯学習課連携事業）、分館収蔵資料解説会、広報連載「お

茶の間博物館」分担執筆

【資料管理】寄付資料受入、借用・寄託資料の更新、本館・館山城くん蒸

【調査研究】企画展「関東大震災と館山」に係る資料調査、祭礼調査

【その他】千葉県博物館協会（安房ブロック中核館）

◆講師派遣等

- ・令和5年6月16日 生涯学習出前講座（市立九重小学校）講師「地区の歴史を知りたい」（講義）
- ・同7月4日 生涯学習出前講座（市立館山中学校）講師「地区の歴史を知りたい（関東大震災と館山）」
- ・同7月14日 生涯学習出前講座（市立九重小学校）講師「地区の歴史を知りたい」（発表講評）
- ・同9月25日 生涯学習出前講座（県立安房特別支援学校館山聾分校）講師「昔の暮らし」
- ・同10月10日 生涯学習出前講座（二子げんき会）講師「地区の歴史を知りたい」
- ・同10月22日 日本民俗学会年会報告「大正期以降の安房地域における葬送儀礼の変容と地域社会」
- ・同10月25日 生涯学習出前講座（船形公民館）講師「地区の歴史を知りたい（三義民とやぐら）」（講義）
- ・同10月28日 講話（千葉県退職公務員連盟安房支部第一分会・第二分会）講師「安房地域における関東大震災からの復興の歩み」
- ・同10月29日 第67回香料・テルペンおよび精油化学に関する討論会講演講師「八犬伝と八犬士」
- ・同10月30日 生涯学習出前講座（船形公民館）講師「地区の歴史を知りたい（三義民とやぐら）」（現地学習）
- ・同11月12日 東京湾学会報告「関東大震災と館山」
- ・同11月26日 生涯学習出前講座（腰越区）講師「地区の歴史を知りたい」
- ・同12月10日 房総民俗研究会事例報告「往来する祖霊についての一考察—安房地域の迎え火・送り火を事例として—」
- ・令和6年1月16日 生涯学習出前講座（館山市コミュニティ連絡協議会）講師「八犬伝ってなに？里見氏ってなに？」
- ・同3月13日 安房4市町公民館連携講座「見たり・聞いたり安房の国」（「房総里見氏～歴史の幕開け」講義及び歴史探訪・散策講師）

◆原稿執筆

- ・企画展図録「関東大震災と館山」（館山市立博物館、令和5年7月）
- ・「房州における関東大震災の犠牲者の慰霊—震災反省地蔵尊と震災記念観音堂を中心に—」（『館山と文化財』第57号、館山市文化財保護協会、令和6年3月）

◆その他

- ・令和6年3月1日ほか 増間の御的神事調査（南房総市教育委員会）

VI 資料の収集・保存

1 新規収蔵資料

令和5年度の新規収蔵資料点数は以下のとおりです。

	寄付	購入	移管	採集	受託	合計
点数	1,520	191	6	0	5	1,722

・受託資料のうち更新分は含まない。

(1) 寄付資料

寄贈者（敬称略）		資 料 名	数量
永井 玉	館山市	寺崎武男絵画	1
相賀区	館山市	輿	1
那覇市社会福祉協議会	沖縄県	写真付はがき	8
小滝 勝	館山市	『千葉県の漁港』・震災写真	2
小宮壽夫	南房総市	『洋服界の開拓者 関根翁奮闘伝』	1
山形達哉	館山市	若潮マラソンスタッフキャップ 他	10
渡邊 篤	南房総市	結束台（古川製材所使用） 他	3
丸山 徹	館山市	丸山商店写真・北條線列車時刻表 他	30
金木幹人	館山市	平和記念東京博覧会金牌・案内冊子 他	26
山口栄彦	神奈川県	館山砲術学校他調査・収集資料	174
常永たまみ	船橋市	海軍軍装品 他	26
石井幸八	鴨川市	『復刻日本古典文学館 南総里見八犬伝 第四輯巻之一』	1
遠藤光子	東京都	寺崎武男画色紙・絵はがき	3
個人	館山市	法被	1
石井豊夫	木更津市	石井家文書・書画・神風隊鑑札 他	115
島田輝弥	館山市	弁当箱（木箱入）	1
牛米 努	東京都	県立安房第二高等学校修学旅行しおり	1
飯田一夫	埼玉県	長寿記念肖像画・安房国札観音巡礼案内チラシ 他	20
保科映子	館山市	糺屋呉服店写真・書画 他	106
井原重之	佐倉市	絵はがき「館山三景二勝」 他	8
和泉澤和子	館山市	川名・根岸両組伊勢講仲間文書 他	17
石井清・唆才	館山市	石井家印半纏・写真 他	9
福島宜慶	東京都	白土入クレンザー	1
田邊正明	館山市	瑳川哲朗関係資料（台本・パンフレット他）	895
個人	館山市	人形（中原淳一制作指導） 他	46

一部を除く。

(2)購入資料

資料名	数量	資料名	数量
鶏卵写真「野島崎ノ灯台」	1	絵はがき「房州名所 小湊誕生寺」	1
房州保田案内	1	絵はがき「(房州小湊) 妙の浦」	1
絵はがき「安房名勝 鏡ヶ浦 富士見橋」	1	絵はがき「小湊ホテル」	1
絵はがき「那古観音」	1	絵はがき「(安房) 小湊鯛の浦」	1
絵はがき「房州 北條町郊外」	1	岩高山絵はがき「祖師堂」	1
絵はがき「曲亭馬琴翁忌辰遺著展覧会 出陳里見八犬伝自筆原稿」	1	絵はがき「(安房名所) 鯛の浦」	1
絵はがき「房州那古観世音」	1	絵はがき「(安房名所) 小松原鏡忍寺全景」	1
絵はがき「安房名勝 鏡ヶ浦 鷹ノ島沖 島ノ遠望」	1	絵はがき「(安房名所) 仁右衛門嶋」	1
番付「古今高名力競」	1	絵はがき「(安房名勝) 船形大福寺観音堂 崖 観音」	1
小池重(曼洞翁)関係資料	136	絵はがき「(安房名所) 天津海二子山」	1
絵はがき「房州長尾橋ノ実景」	1	絵はがき「(安房名所) 天津清澄山御本堂」	1
勝山名勝絵葉書(3点一組)	3	絵はがき「房州名所 館山公園」	1
岡山藩海防・砲術関係文書	28	手札写真「房州船形観音」	1
		C D「樽屋雅徳作品集 vol.2 輪廻の八魂」	1

(3)移管資料

資 料 名	数量	旧保管者
船形幼稚園・九重保育園公印	4	市教育委員会こども課
唐棧織札入れ	1	市教育委員会生涯学習課
銭枰	1	市会計局

(4)受託資料(新規のみ。年度内に返却したものを除く)

寄託者(敬称略)	資 料 名	数量
高田かほる	東京都 俵光石作観音像	1
井原重之	佐倉市 石井昭房作刀 他	3
相山林繼	富津市 白山神社鰐口	1

2 施設くん蒸

当館では、資料保全のため、収蔵庫や展示室へのガス投入による虫やカビの防除作業を数年おきに実施しています。令和5年度には下記のとおり施設くん蒸を実施しました。

実施期間 令和5年6月1日(木)～8日(木) ※準備・換気・撤収作業を含む。期間中は臨時休館

実施場所 市立博物館本館収蔵庫および展示室、館山城(八犬伝博物館)全館

作 業 者 関東港業株式会社 千葉営業所

Ⅶ 施設運営・維持管理

1 指定管理者との協働

一部業務について、指定管理者による博物館運営を実施しました。

(1) 指定管理者

株式会社 塚原緑地研究所 代表取締役 塚原道夫

(2) 期間

令和元年12月1日から令和6年11月30日まで

(3) 業務

① 本館

受付案内業務

② 館山城（八犬伝博物館）

受付案内業務、施設運営業務、維持管理業務

③ 分館（“渚の駅” たてやま内渚の博物館）

受付案内業務

④ 令和5年度自主事業実績

- ・ 館山城企画展「南総里見八犬伝総選挙」
- ・ 館山城企画展「馬琴展」
- ・ 館山城会城祭（館山城秋まつり）
- ・ 謎解きゲーム 第3章
- ・ 館山城「お月見会」（時間外特別開館）
- ・ 館山城・城山公園コスプレイベント「acosta!@館山城～里見ゆかりの地～」
- ・ 正月3が日の館山城臨時開館
- ・ 新春館山城 筆あそび
- ・ 館山城企画展「八犬伝と双六展」

2 館内における新型コロナウイルス感染症防止対策

(1) 令和4年度に引き続き、下記の対策を継続して実施しました。

- ① 集会室での講座等において1人掛機を使用
- ② デジタルサイネージによる情報案内と注意喚起
- ③ 飛沫感染防止のため入館者受付にアクリルボードを設置
- ④ 展示室ケース等の消毒
- ⑤ 入館者用手消毒液の設置



(2) (国) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、博物館本館および館山城（八犬伝博物館）の施設内における感染予防対策として、下記の機器を導入しています。

- ①顔認証型検温機 2台（本館1台・館山城1台）※入館者任意使用
- ②空気清浄機 12台（本館9台・館山城3台）※開館時間常時作動



3 主な施設改修

なし

4 令和5年度館山市事業仕分けの結果

- (1)実施日 令和5年9月23日（土）・24日（日）
- (2)実施方法 仕分け人（外部有識者等）が説明者（市職員）に対して行う質問・議論の内容をふまえ、市民判定人（無作為抽出のうち参加希望者）が判定。
- (3)対象内容 3館体制について
- (4)評価結果

- ①博物館管理運営費 館山市立博物館本館 現行通り・拡充
- ②博物館管理運営費 館山城（八犬伝博物館） 現行通り・拡充
- ③博物館管理運営費 渚の博物館（分館） 現行通り・拡充

※令和5年度事業仕分け対象16事業・施設のうち、「不要・凍結」2事業、「要改善」11事業、「現行通り・拡充」3施設

VIII 例規

○館山市立博物館設置条例

昭和57年6月26日条例第15号

最終改正 令和5年3月23日条例第5号

(設置及び目的)

第1条 本市は、博物館法（昭和26年法律第285号。以下「法」という。）に基づき、市の歴史、芸術、民俗、産業等に関する資料を収集し、保管し、及び展示して一般公衆の利用に供するとともに、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、あわせてこれらの資料に関する調査研究を行うため博物館を設置する。

(名称及び位置)

第2条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
館山市立博物館	館山市館山351番地の2
館山市立博物館分館	館山市館山1564番地の1

(所管)

第3条 博物館は、館山市教育委員会（以下「教育委員会」という。）の所管に属する。

(事業)

第4条 博物館は、法第3条第1項の定めるところにしたがいおおむね次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 実物、模写、模型、文献、図表、写真、フィルム等の博物館資料を豊富に収集し、保管し、及び展示すること。
- (2) 博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行い、報告書等を公刊すること。
- (3) 博物館資料に関する講演会、研究会等を開催すること。

(職員)

第5条 博物館に館長及び学芸員のほか必要な職員を置く。

2 前項の館長は、非常勤とすることができる。

(観覧料)

第6条 博物館の観覧料は、次のとおりとする。

区分	観覧料（1人につき）			
	個人		団体（20人以上）	
	市内	市外	市内	市外
小学生・中学生・高校生	100円	200円	80円	150円
一般	200円	400円	150円	300円

2 前項の規定にかかわらず、特別展を開催している期間においては、博物館の観覧料は、次のとおりとする。

区分	観覧料（1人につき）			
	個人		団体（20人以上）	
	市内	市外	市内	市外
小学生・中学生・高校生	150円	300円	100円	250円
一般	250円	500円	200円	400円

(観覧料の減免)

第7条 市長は、公益上その他必要と認めるときは、観覧料を減免することができる。

(既納観覧料の還付)

第8条 既納の観覧料は、これを還付しない。ただし、市長が特別の理由があると認めたときは、還付することができる。

(博物館協議会)

第9条 博物館に館山市立博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会の委員（以下「委員」という。）は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から教育委員会が任命する。

3 委員の定数は、7人以内とする。

4 委員の任期は2年とし、欠員が生じた場合の補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

(指定管理者による管理)

第10条 教育委員会は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定により、法人その

他の団体であつて教育委員会が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に博物館の管理を行わせることができる。

（指定管理者が行う業務）

第11条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- （1）博物館の運営に関する業務
- （2）博物館の維持管理に関する業務
- （3）博物館の観覧に係る料金（以下「利用料金」という。）の徴収等に関する業務
- （4）前3号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める業務（利用料金）

第12条 指定管理者が徴収する利用料金は、第6条の表に掲げる額の範囲内において、指定管理者があらかじめ市長の承認を得て定めるものとする。

2 前項の規定にかかわらず、指定管理者は、同項の規定により利用料金を定めることが適当でないと認める場合には、あらかじめ市長の承認を得て、利用料金を定めることができる。

3 市長は、指定管理者に利用料金を当該指定管理者の収入として収受させることができる。

（指定管理者が行う管理の基準）

第13条 指定管理者が行う管理の基準については、この条例及び館山市指定管理者の指定手続等に関する条例（平成18年条例第42号）に定めるもののほか、教育委員会が別に定める。

（読替え）

第14条 第10条の規定により指定管理者に博物館の管理を行わせた場合における第7条、第8条及び附則第2項の規定の適用については、第7条の見出し中「観覧料」とあるのは「利用料金」と、同条中「市長は、公益上その他必要と認めるときは、観覧料」とあるのは「指定管理者は、公益上その他必要と認めるときは、市長の承認を得て、利用料金」と、第8条の見出し中「観覧料」とあるのは「利用料金」と、同条中「観覧料」とあるのは「利用料金」と、「市長が特別の理由があると認めたときは」とあるのは「指定管理者は、特別の理由があると認めると

きは、市長の承認を得て」と、附則第2項（見出しを含む。）中「観覧料」とあるのは「利用料金」とする。

（委任）

第15条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会が規則で定める。

附 則

（施行期日）

- 1 この条例は、昭和57年10月1日から施行する。（観覧料に関する特例）
- 2 当分の間、館山市立博物館分館の常設展の観覧料については、無料とする。

※以下省略

○館山市立博物館管理規則

昭和57年9月23日教育委員会規則第8号

最終改正 平成31年3月22日教委規則第4号

（趣旨）

第1条 この規則は、館山市立博物館設置条例（昭和57年条例第15号。以下「条例」という。）に基づき館山市立博物館（以下「博物館」という。）の管理に関し、必要な事項を定めるものとする。

（開館時間）

第2条 博物館の開館時間は、午前9時から午後4時45分までとする。ただし、入館することができる時間は、午前9時から午後4時30分までとする。

2 館山市教育委員会（以下「教育委員会」という。）は、特に必要があると認めるときは、前項の開館時間を変更することができる。

（休館日）

第3条 博物館の休館日は、次のとおりとする。

- （1）毎週月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日に当たるときは、その翌日）
 - （2）12月29日から翌年の1月3日までの日
- 2 教育委員会は、特に必要があると認めるときは、前項の休館日を変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

(観覧の手続)

第4条 博物館に入館し観覧しようとする者(以下「観覧者」という。)は、条例第6条に規定する観覧料を納付し、観覧券の交付を受けなければならない。

(観覧料の免除)

第5条 条例第7条の規定により、観覧料を免除することのできる場合は、次のとおりとする。

- (1) 市内に住所を有する65歳以上の者が観覧するとき。
- (2) 身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)で定める身体障害者及びその介護者が観覧するとき。
- (3) 知的障害者福祉法(昭和35年法律第37号)にいう知的障害者及びその介護者が観覧するとき。
- (4) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)で定める精神障害者及びその介護者が観覧するとき。
- (5) 市内に所在する老人ホーム、福祉作業所その他の福祉施設の入所者及びその施設の職員が、当該施設の行事として観覧するとき。
- (6) 市内の保育園、幼稚園、こども園、小学校、中学校及び高等学校の園児、児童及び生徒並びにその引率者及び保護者が、当該学校等の行事として観覧するとき。
- (7) 前各号に定めるもののほか教育委員会が公益上必要と認めるとき。

2 観覧料の免除を受けようとする者は、前項第1号から第4号までに規定する場合を除き、あらかじめ教育委員会に観覧料の免除の申請をしなければならない。

3 教育委員会は、観覧料を免除したときは、観覧券を交付するものとする。

(入館の制限)

第6条 館長は、次の各号のいずれかに該当する者に対して入館を禁じ、又は退館を命ずることができる。

- (1) 所定の観覧券を所持しない者
- (2) 指導者、保護者又は付添人のない6歳に満たない者

(3) 泥酔者その他観覧者に不快の感を与えると認められる者

(4) その他管理上支障があると認められる者
(禁止行為)

第7条 観覧者は、次に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 博物館資料をき損し、又は汚損すること。
- (2) 許可なく博物館資料を模写し、又は撮影すること。
- (3) 所定の場所以外で喫煙又は飲食すること。
- (4) その他、他の観覧者の妨げになる行為すること。

(損害賠償)

第8条 観覧者は、博物館資料、建物若しくは備品等を損傷し、又は滅失した場合には、これによって生じた損害を賠償しなければならない。

(読替え)

第9条 指定管理者(条例第10条に規定する指定管理者をいう。)に条例第11条に規定する業務を行わせる場合における第2条第2項、第3条第2項、第4条、第5条及び第6条の規定の適用については、第2条第2項中「館山市教育委員会(以下、「教育委員会」という。))は、特に必要があると認める」とあるのは「指定管理者が、特に必要があると認め、教育委員会の承認を得た」と、第3条第2項中「教育委員会は、特に必要があると認める」とあるのは「指定管理者が、特に必要があると認め、教育委員会の承認を得た」と、第4条中「第6条」とあるのは「第12条」と、「観覧料」とあるのは「利用料金」と、第5条の見出し中「観覧料」とあるのは「利用料金」と、同条第1項中「観覧料」とあるのは「利用料金」と、同項第7号中「教育委員会が公益上必要と認める」とあるのは「指定管理者が公益上必要と認め、市長の承認を得た」と、同条第2項中「観覧料」とあるのは「利用料金」と、「教育委員会」とあるのは「指定管理者」と、同条第3項中「教育委員会は」とあるのは「指定管理者は、市長の承認を得て」と、「観覧料」とあるのは「利用料金」と、第6条中「館長」とあるのは「指定管理者」とする。

(委任)

第10条 この規則に定めるもののほか、博物館の管理及び運営に関し必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この規則は、昭和57年10月31日から施行する。

※以下省略

○館山市立博物館協議会運営規則

昭和59年4月24日教育委員会規則第5号

改正 平成17年8月19日教委規則第11号

(趣旨)

第1条 この規則は、館山市立博物館設置条例(昭和57年条例第15号)第10条の規定により館山市立博物館協議会(以下「協議会」という。)の運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(会長及び副会長)

第2条 協議会に会長及び副会長各1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。

3 会長及び副会長の任期は、2年とする。

4 会長は、協議会を代表し、議事その他の会務を総理する。

5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第3条 協議会の会議(以下「会議」という。)は、必要がある場合において、会長が招集する。

第4条 会議は、委員の2分の1以上の出席がなければ開くことはできない。

2 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(関係職員の出席)

第5条 関係職員は、会議に出席して意見を述べることができる。

(庶務)

第6条 会議に関する庶務は、館山市立博物館において処理する。

(委任)

第7条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行し、昭和59年4月1日から適用する。

附 則(平成17年8月19日教委規則第11号)

この規則は、公布の日から施行する。

館山市立博物館年報

令和5年度版

発 行 日 令和6年7月31日

編集・発行 館山市立博物館

〒294-0036 千葉県館山市館山 351-2

TEL 0470-23-5212 FAX 0470-23-5213